

blinc

interview with graz

オーストラリアのアイウェアブランド“graz(グラーツ)”の存在を知る人は、
まだそう多くはないだろう。なぜなら“graz”は、

世界でたった10軒のショップでのみストイックに展開されているからだ。

光栄にもそのひとつとなったブリック青山本店に、先日デザイナー本人が来日。

究極のシンプルさの中に未来に残るアイウェアの潮流を感じるgrazの魅力に迫った。



blinc aoyama

Why graz?

なぜグラーツを始めたかって？

19歳でAMアイウェアを立ち上げ、23歳でKSUBIのヘッドデザイナーになった。どちらも成功したが、人が求めているものに合せて作っているという感覚が抜けなかった。そうではなく自分が信じるシンプルかつストイックなデザインを表現したくてgraz(グラーツ)に至ったんだ。ずっとやりたかったことを形にしただけだよ。

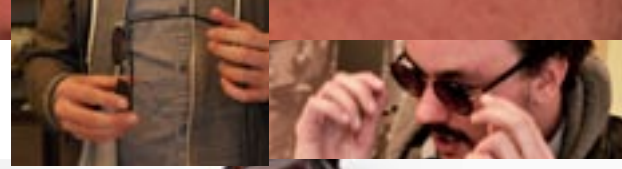
People choose good things

人は、いいものを選ぶもんだろ。

いいものは、手にとらずとも見ただけで分かるもんだろ。人間は、本能のままにいいものを見分けそれを高く評価する力を持っている。たとえば、otisという名のサングラスは、マルコムXの眼鏡へのオマージュだが、エッジさとモダンさを兼ね備えたタイムレスなその魅力を人々は記憶の中ですでに知っているんだ——シンプルで落ち着いたデザインが、偉大な影響を与え続けることの証明だ。



straylll
22,050円(税込み)



otis
22,050円(税込み)

Try great simple design.

偉大なほどシンプルなデザインに挑戦するだけ。

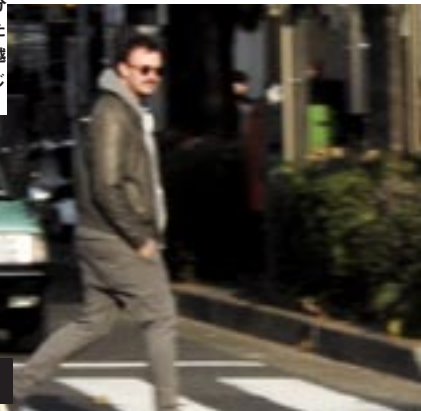
“just eyewear=ただアイウェアとしてだけ存在する”ようなシンプルなものやりたい。クラシックデザインが流行しているが、それらはあくまでもスタイルであってデザインではない。クラシックスタイルとして残るデザインは、いつの時代も衝撃的に新しく、かつ偉大なほどシンプル。シンプルだからこそ永く後世に残ったんだ。



Make something unexplainable

説明なんていらぬ、そういうものを作ってる。

美しさとは本来、説明するものではない。grazのデザインはシンプルだが、考え抜かれた先にあるシンプルシティであり、ただのシンプルとは違うんだ。高らかに主張はしないが、そのかわり、分かる人には一瞬で分かる“hidden beauty=隠された美しさ”。目に見えるものを超越した美しさを、ぜひ直感で感じてほしいね。



k.m.c 22,050円(税込み)

Graz Mulcahy

オーストラリアが生んだ2大ブランド“AM アイウェア”と“KSUBI”を立て続けに成功させた後、満を持して自身のブランド“graz(グラーツ)”をスタート。

ブリンク青山本店

<http://www.blinc-aoyama.com>

〒107-0062 東京都港区南青山2-27-20 植村ビル1F

(南青山3丁目交差点から30メートル、東京メトロ銀座線外苑前駅1a出口より徒歩2分)

TEL 03-5775-7525 Eメール shop@blinc.co.jp

